

ごあいさつ

この度、21世紀初頭の江別の街づくり計画である「第5次江別市総合計画」の「後期基本計画」を策定いたしました。

これまで、10年間の街づくりの方向性を明確にした「基本構想」と、前期5年間の達成目標を明示した「前期基本計画」を道しるべに、政策・施策などを展開してきたところですが、今回の「後期基本計画」策定にあたっては、前期の施策等の達成状況を踏まえ、後期5年間の施策等の方向性や目標などについて再構築いたしました。

平成16年度にスタートした第5次江別市総合計画は、将来都市像を「人が輝く共生のまち」とし、これを具体化するための政策・施策体系は、市民意識調査やパブリックコメントの実施など、市民の声が反映されたものとなるよう配慮するとともに、行政審議会や市議会など多方面にわたる幅広いご議論やご審議をいただき策定いたしました。

21世紀は地方分権の時代であり、自主自立の街づくりが求められております。

また、社会経済構造を根底から変革させる人口減少社会となりました。これからは自然や地域文化を守りつつ、利便性や快適性が感じられる「人にやさしい」都市を構築することが必要であり、そのためにはこれまでに整備してきた社会資本を活用し、ハード中心からソフト中心へ舵を切らなければなりません。

また、身近な問題や日常生活に必要なサービスに地域自らが責任を持ち、協働の街づくりを進めるためには、地域の資源である「市民・NPO・事業者・行政」が一体となって、街づくりの担い手となることが求められています。

現下の経済情勢は極めて厳しく、その先行きは不透明なものがありますが、どのような社会情勢になっても、住民に最も身近な存在である地方自治体は、住民福祉を向上させ、誰もが幸せで心豊かな生活を過ごせるよう行政活動を行う責任があります。

そして個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現のためには、しっかりとした目標と安定した行財政基盤を持つことで、はじめて持続的発展を成し遂げることができると考えます。

これからは、基本構想の将来都市像を目指し、前期計画中に進めた事務事業を点検しながら、目標達成のため一歩ずつその歩みを進めてまいりたいと考えております。

この計画は単なる行政計画ではなく、地域を構成する全ての人々が共有する「地域経営計画」です。これからの江別の街づくりに、市民の皆様の参画とご協力を切にお願いするとともに、この計画の策定にあたり、ご協力をいただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成21年3月

江別市長 三好昇